

未来の富田林をあなたと描く市民会議

み ら と ん

“Mira-ton 2017”

結果報告書

平成 29 年 12 月

富田林市

《 目 次 》

I. 実施概要.....	1
1. 実施目的.....	1
2. 実施方法.....	1
3. 実施内容.....	2
II. “Mira-ton 2017” 実施結果.....	3
1. 地域の課題を見つけよう.....	3
(1) プロセス.....	3
(2) グループワークのまとめ.....	4
2. 地域の資源を見つけよう.....	9
(1) プロセス.....	9
(2) グループワークのまとめ.....	10
3. 地域の課題・資源の総括.....	15
4. 自主活動.....	17
(1) プロセス.....	17
(2) 自主活動のまとめ.....	18
5. 資源と課題を結びつけよう&作戦会議！次の一歩を考えよう.....	22
(1) プロセス.....	22
(2) グループワークのまとめ.....	23
6. 取組アイデアの総括.....	30
III. 資料編.....	31
アンケート調査結果.....	31

I. 実施概要

1. 実施目的

本市が、平成 29 年度からの 10 年間のまちづくりの指針として策定した「富田林市総合ビジョンおよび総合基本計画（以下、「総合ビジョン」という。）」に掲げる将来像の実現に向け、計画内容について市民への浸透を図るとともに、基本施策として位置付けている“主体的な市民参加と協働によるまちづくり”を推進していくため、市民自らがまちづくりの主体として活躍していくための意識醸成を図り、また地域人材の育成につなげることを目的とする。

2. 実施方法

名 称 : 未来の富田林をあなたと描く市民会議 “Mira-ton 2017”

実施期間 : 平成 29 年 9 月 10 日（日）～11 月 5 日（日）
（全 4 回、うち 1 回は台風接近のため中止）

会 場 : 富田林市消防署 4 階講堂

参加対象者 :

区分	概要
市民	昨年度実施した “Mira-ton” 参加市民の内、応募された方
	無作為に抽出した 18 歳以上の市民 1,500 名の内、応募された方
	公募により応募された方
学生	大阪大谷大学の学生

検討手法 : ワークショップ形式によるグループ討議

- ・参加者の居住地域により第 1&第 2 圏域（喜志・第一・第二・第三中学校区）と第 3 圏域（金剛・葛城・藤陽・明治池中学校区）にエリア分けしたうえで、総合ビジョンに沿った 4 つのテーマ「未来への希望を育む子育て・教育」「みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり」「魅力のあふれるまちのにぎわいづくり」「安全・安心で美しく快適なまちづくり」を設定し、各回のグループワークを実施しました。
- ・グループワークでは、毎回「テーマ」と「方法」を設定し、グループの進行役（ファシリテーター）を市職員が担い、話し合いを進めました。

図表 I-1 圏域とテーマによる班分け

テーマ	第1&第2圏域 (喜志・第一・第二・第三中学)	第3圏域 (金剛・葛城・藤陽・明治池中学)
未来への希望を育む 子育て・教育	①班	⑥班
みんなで支え合う健やかで 心豊かな暮らしづくり	②班	⑦班
魅力のあふれる まちのにぎわいづくり	③班	⑧班
安全・安心で美しく快適な まちづくり<防犯・防災>	④班	⑨班
安全・安心で美しく快適な まちづくり<環境ほか>	⑤班	⑩班

※④班と⑤班、⑨班と⑩班は第2回におけるグループ決めの際に、1つに統合されました。

※⑥班と⑦班は、最終回のワークショップで1つに統合されました。

3. 実施内容

	開催日時	テーマ	内容	参加者数
第1回	平成29年 9月10日(日) 14時~16時半	地域の課題を見つけよう	・オリエンテーション ・基調講演 ・地域課題の抽出・整理	58名 〔市民：55名〕 〔学生：3名〕
第2回	平成29年 9月24日(日) 14時~16時	地域の資源を見つけよう	・地域資源の抽出・整理 ・グループ決め	40名 〔市民：37名〕 〔学生：3名〕
第3回	平成29年 10月29日(日) 14時~16時	台風の接近に伴い中止		
最終回	平成29年 11月5日(日) 14時~17時	資源と課題を結びつけよう & 作戦会議！次の一歩を考えよう	・宿題の発表 ・アイデアの具体化 ・全体発表	31名 〔市民：29名〕 〔学生：2名〕
			参加延べ人数	129名

II. “Mira-ton 2017” 実施結果

1. 地域の課題を見つけよう

(1) プロセス

第1回のグループワークでは、参加者個人が感じている地域の課題について、一定時間ごとにテーブルを移動しながら、様々な意見を集約していく「ワールドカフェ」の手法を用いて、地域やテーマごとに意見を出し合い、地図上に課題を集約しました。

図表 II-1 当日のワークの流れと、ワークで出た意見の例



(2) グループワークのまとめ

ワールドカフェで抽出された地域課題は全部で 301 件あり、以下ではテーマごと、地域ごとに主な意見をまとめています。

未来への希望を育む子育て・教育

【第 1 & 第 2 圏域】

世代間の交流や声かけが少なくなっているという声が多くあげられました。また、待機児童の問題や地域間での教育格差についての意見が出るとともに、学童の預かり時間や学校へのエアコン設置など、子育て・教育におけるよりよい環境整備に向けた声がありました。

ヒト

- ・子どもたちがあいさつできない
- ・小中学生や若い人との交流がない
- ・子どもたちへの声かけがあまりない
- ・親の子育てに関する知識が少ない（子育て講座をしているか？）
- ・子どもが入院して親が付き添う時、その兄弟の面倒をみる人がいない
- ・園庭開放に来る人が少ない（いない）
- ・幼稚園の子どもが減少している

コト・モノ

- ・出生率が下がっているのに待機児童が減らない
- ・地域間で教育格差がある
- ・「富田林の子育てはイイよ!!」という声を聞いたことがない
- ・学童クラブの預かり時間が短い
- ・地域でラジオ体操を見かけない
- ・通学路が狭い上に車の通行が多く危険
- ・図書館が遠い
- ・小学校にエアコンの設置が必要



【第 3 圏域】

世代間の交流や助け合いの必要性についての声が多くあげられました。また、待機児童の問題や教育水準についての意見が出るとともに、ボール遊びのできる公園や市民プールの必要性、図書館の充実など、子どもの遊び場や居場所についての意見が出されました。

ヒト

- ・子どもたちがあいさつできない
- ・子どもと接する機会がない
- ・高齢者と子育て世代の助け合いが必要
- ・子どもの校区外とのつながりが少ない

コト・モノ

- ・待機児童問題
- ・病気の子どもを預けるシステムが必要
- ・教育水準の向上が必要
- ・自由な学校選択があれば良い（例：2つの中から選ぶなど）
- ・放課後子ども教室に子どもが少ない
- ・学校のクラブが少ない（子どもが減少している）
- ・若い世代を呼び込む魅力や施策が少ない
- ・ボール遊びができる公園が必要
- ・図書館（書籍）の充実が必要
- ・金剛地区に市民プールが欲しい
- ・空き教室の活用



【第1&第2 圏域】

町会・各種団体における役員等の高齢化・担い手不足や、地域のつながりの希薄さについての意見が出されました。また、自治会などの地域活動が何をしているか分からないといった声や、市民運動会の必要性などについての声もありました。

ヒト

- ・町会の役員になり手がいない
- ・市内で活動している団体の高齢化が進んでいる（民生委員や障がい者団体など）
- ・近所の方を知っているようで知らない
- ・隣近所で声をかけにくい（つながりが希薄になったのではないかと）
- ・多世代が交流できるとよい（岸和田市では大人の習い事と子どもの集うところができたらしい）
- ・町内での一斉そうじなどはあるが、参加する人が少ない
- ・地域で暮らす外国人との交流

コト・モノ

- ・居住地の自治会がどこにあるかわからない
- ・地域（自治会）などの取組が何をしているのか分からない（いきいきサロン、子育てサロン他）
- ・市民大運動会がなくなりさみしい
- ・河川敷公園をもっと活用すべき
- ・坂が多く高齢者の移動が大変



【第3 圏域】

地域の高齢化やつながりの希薄さ、世代間の助け合いの必要性について意見が出されました。また、地域活動の減少に加え、町内会などの地域のルールが分りにくいといった声もありました。さらに、高齢者支援や障がいへの理解促進などの必要性についても話し合われました。

ヒト

- ・高齢者が多いと感じる（寺池台）
- ・近所付き合いが少ない
- ・高齢者と子育て世代の助け合いが必要

コト・モノ

- ・町内活動が少ない
- ・町内会のルールが分りにくい
- ・ボランティアの活用やボランティア組織の設置が必要
- ・福祉施設の利用方法など情報発信が必要
- ・高齢者宅を定期訪問する手立てが必要
- ・障がいの理解をしてほしい
- ・けあぱるを若者がもっと使えるようにするべき
- ・けあぱるプールは障がい者が利用しにくい
- ・ジョギング、ウォーキング用の更衣室がない
- ・スポーツホールが古い



魅力のあふれるまちのにぎわいづくり

【第1&第2圏域】

まちの魅力向上やにぎわいづくりのためには、地域の名物キャラや案内人が必要という意見がありました。また、観光スポットやグルメがないといった声や、寺内町をはじめ富田林の知名度がないといった課題があげられました。さらに、駅前や大学周辺のにぎわいづくりの必要性についても話し合われました。

ヒト

- ・名物キャラ、案内人が必要
- ・寺内町について知らない人が多い

コト・モノ

- ・寺内町のパッケージ化が必要
- ・寺内町燈路など人が集まるイベントがあるが、富田林の知名度がない
- ・観光スポットがない
- ・富田林のおみやげがない
- ・B級グルメがない
- ・富田林の体験イベントが必要
- ・楠公にちなんでの行事が必要
- ・オリックスバファローズの二軍戦でなく一軍戦を実施してほしい
- ・だんじりはあるが、他の祭りがなくなった
- ・都会からのアクセスが悪く、電車料金が高い
- ・近鉄長野線の駅前のにぎやかさが乏しい
- ・駅前にダイエーがあったころは街に明るさがあった（明るくなると学生もやってくるのでは）
- ・大阪大谷大学の周りが静か（もう少しお店があれば受験者が増え、にぎやかになりそう）
- ・東条地区、彼方地区との交流が必要（農業体験）



【第3圏域】

まちの魅力向上につながるような魅力ある人材がないという声や、地域の魅力が知られていない、観光資源がないという意見がありました。また、産業に目立った特徴がないことや、商店街の衰退、商業施設の少なさなども課題としてあげられました。

ヒト

- ・魅力ある人材が少ない

コト・モノ

- ・地域の魅力が知られていない
- ・観光資源がない
- ・イベント情報等が分からない
- ・地域の行事がない
- ・商業・産業ともに目立ったものはない
- ・銀座商店街にもっと活気が必要
- ・商店街の店が減っている
- ・若者が使う施設がない
- ・魅力ある店が少ない
- ・買い物、外食施設が少ない
- ・古墳の近くが整備されていない



【第1&第2圏域】

防災に関しては、避難所までの距離や行き方などについての周知・認知不足の意見が多くあげられました。また、防犯に関しては保護者間ネットワークなど、地域で防犯や非行防止に向けた体制づくりの必要性が話し合われました。さらに、空き家の増加や街灯の少なさなども課題としてあげられました。

ヒト

- ・未成年者が夜遅くまで外にいる（公園など）

コト・モノ

- ・避難所が遠い
- ・避難所への行き方、避難の仕方がわからない
- ・小学校で避難訓練はしているが、どこに避難すれば良いか伝わっていない
- ・中学生を避難誘導できるように教育すべき
- ・災害訓練をやりすぎると慣れてしまって良くない
- ・連絡網に代わる保護者間ネットワークが必要
- ・地域で非行を防ぐ体制づくりが必要
- ・子ども会、青年会、老人会などの活用
- ・通学に時間がかかるため犯罪や熱中症などが心配
- ・ひったくりや盗難などが発生している
- ・近くに交番がない
- ・暗い箇所がある
- ・石川河川敷が怖い
- ・空き家が多数放置されている
- ・街灯が少ない
- ・細い道に頻繁に車が通るので危険
- ・朝にイノシシが出没する



【第3圏域】

防災に関しては、避難所の周知・認知不足とともに、高齢化などにより地域防災力を危惧する意見が出されました。また、防犯に関しては、防犯カメラや防犯灯の少なさや、公園・道の暗さなどが課題としてあげられました。

ヒト

- ・不審者がいる

コト・モノ

- ・災害時、どこに行けばいいのかわからない
- ・地域防災組織に力不足を感じる
- ・高齢者が多いので、防災対策の不備が気になる（寺池台）
- ・集合住宅は、震災のとき安否確認できるか不安
- ・治安が悪い
- ・静かだが、一人歩きは不安（藤沢台）
- ・近くに交番がない
- ・夜の道が暗い
- ・防犯カメラの設置が少ない（津々山台）
- ・遊歩道に防犯灯が少ない
- ・寺池公園が暗く、見通しが悪い
- ・救急車にお世話になった時に病院が見つからず40分待機させられた




【第1&第2圏域】

バス路線の減少などによる交通の不便さについて意見が出されました。また、ごみ出しマナーや道路舗装、空き家など、生活環境に係る課題の意見も多くありました。さらに、石川清掃など、自然環境の保全に向けた取組の必要性についても話し合われました。

 ヒト

- ・府営住宅の居住者が少なくなった
- ・ごみ出しのルールを守らない人がいる

 コト・モノ


- ・景観・美観が変わらない
- ・車やバイクの暴走
- ・公共交通機関（バス）の減少で移動が困難
- ・レインボーバスがどこを通っているのかわからない
- ・レインボーバスが近くを通っていない
- ・近鉄長野線の終電が富田林駅止まりになっている
- ・石川サイクルロードに街灯がない（散歩コースに適しているのもったいない）
- ・石川サイクリングロードが国道309号線以南にない
- ・梅の里から喜志への道路の舗装が悪い
- ・空き家・空き部屋が増えている
- ・「売物件」になっても、なかなか売れない
- ・石川大清掃が、あまり知られていない
- ・石川河川敷の「畑」は撤去させられた（畑があったときの方がきれいだった）
- ・石川の保全が重要（生態系を守る事にもなる）
- ・昔は金剛大橋の辺りにホテルがいた
- ・市役所が構造上、使いにくい（トイレ、食堂）

【第3圏域】

バス路線の本数や経路による交通の不便さについて意見が出されました。また、町並みの統一感のなさや落書きなど景観に関する課題や、道路舗装・街路樹の管理、ごみの散乱、カラスなどの被害、空き家の放置など、生活環境に関する課題も多くあげられました。

 ヒト

- ・交通マナー（特に自転車・バイク）の悪い人が多い
- ・狭い道路や駅前でもスピードを出す車が多い
- ・歩き煙草やポイ捨てなどマナーの悪い人が多い

 コト・モノ

- ・町並みの統一感がない
- ・陸橋や住宅地の壁に落書きがある（津々山台）
- ・電柱により景観が悪い
- ・交通量が多くなった（滝谷、金剛伏山台）
- ・狭山池富田林線が渋滞している
- ・歩道が狭く歩行者が守られていないと感じる
- ・道路がいたんでおり、舗装の精度が悪い
- ・道路が狭い（五軒家地区 通学路、避難路）
- ・交通の便が悪い
- ・レインボーバスの経路を多くしてほしい
- ・近鉄バスにもっと路線や本数があればよい
- ・学校や幼稚園前に横断歩道がない（向陽台など）
- ・街路樹が伸びすぎている
- ・ごみなどの散乱
- ・カラスや野良猫の対策が必要
- ・遊歩道や緑道が活用されていない
- ・手つかずの空き家がある
- ・団地がバリアフリーになっていない
- ・太陽光パネルが少ない
- ・循環型社会に向けた取組が少ない
- ・公園にトイレがない（藤沢台公園など）
- ・緑や公園が多いが、活用が少ない

2. 地域の資源を見つけよう

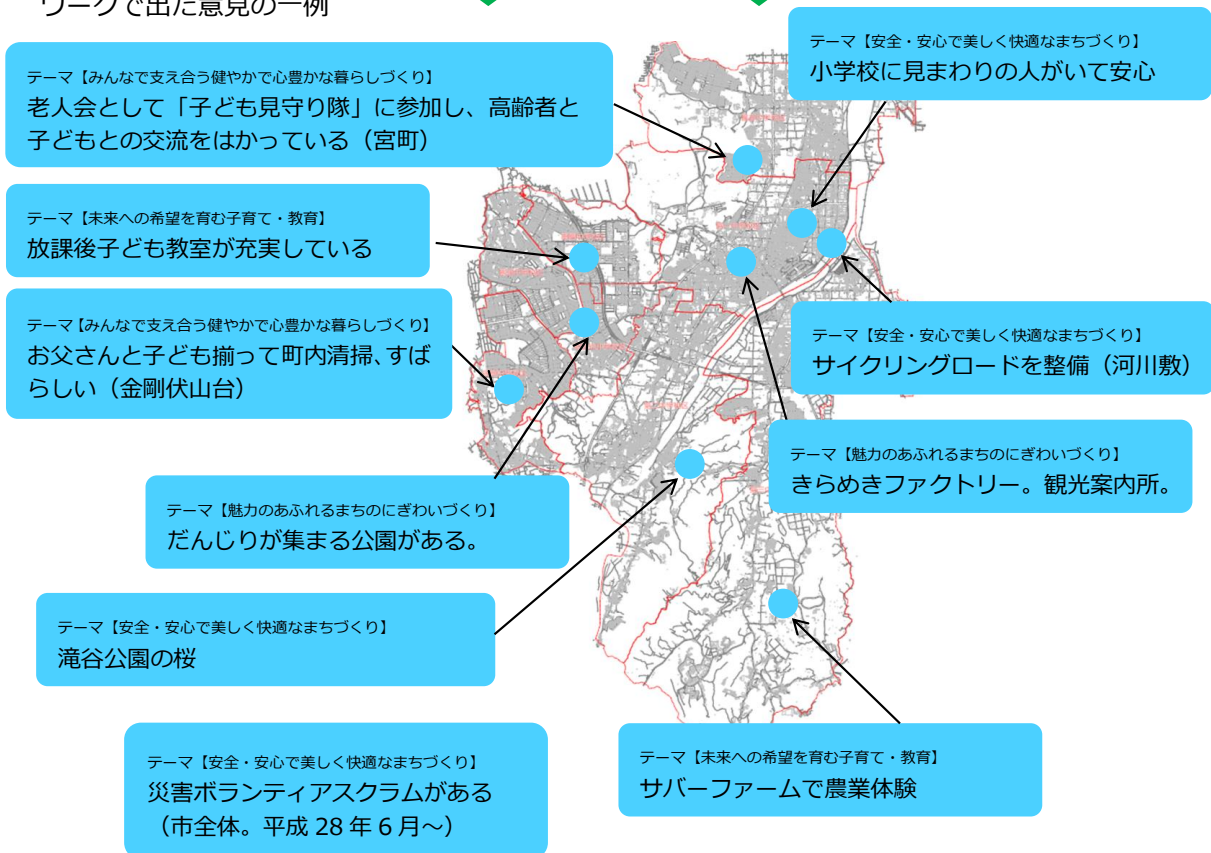
(1) プロセス

第2回のグループワークでは、第1回と同様に、「ワールドカフェ」の手法を用いて、地域やテーマごとに意見を出し合い、地図上に資源を集約しました。

図表 II-2 当日のワークの流れと、ワークで出た意見の例



ワークで出た意見の一例



(2) グループワークのまとめ

ワールドカフェで抽出された地域資源は 275 件であり、以下ではテーマごと、地域ごとに主な意見をまとめています。

未来への希望を育む子育て・教育

【第 1 & 第 2 圏域】

子どもの見守り活動や地域の寺子屋、ラジオ体操など、世代間交流や地域ぐるみによる子育ての取組が資源として多くあげられました。また、人権教育や学校給食、医療費助成、防犯メールなど、子育て・教育に係る各種施策や取組について、様々な意見があげられました。

ヒト

- ・老人会として「子ども見守り隊」に参加している（宮町）
- ・夏休みに、住民がお寺で「寺子屋」を開いている（宮町）
- ・夏休みのラジオ体操など、子ども会と老人会の共同イベントがある
- ・小学校に見まわりの人がいて安心できる
- ・国際交流が行われており、海外の大学から学生が来る

コト・モノ

- ・人権を大切にしている教育が市全体で行われている
- ・公民館・図書館に子ども向けイベントがある
- ・国際交流協会がサマースクールを行っている
- ・中 3 までの子どもの医療費助成が素晴らしい
- ・中学校給食がおいしいと評判である
- ・喜志小メールがあり、不審者が出たらすぐ連絡が入る
- ・放課後サポート施設がある
- ・市民プールがきれいになって人気になっている
- ・寺内町は生きた歴史教材である
- ・平成幼稚園のバスがかわいい
- ・すばるホールがある
- ・Topic がある

【第 3 圏域】

子どもの見守り活動やあいさつ運動など、地域による子育ての取組が資源として多くあげられました。また、つどいの広場や放課後子ども教室、公園、図書館など、子どもの居場所や遊び場があることについても、資源として話し合われました。

ヒト

- ・子ども見守り活動が行われている
- ・あいさつ運動が行われている
- ・子ども会がある
- ・富田林のおはなしの会が、小学校や幼稚園へ絵本の読み聞かせなどを行っている

コト・モノ

- ・PL 病院の産婦人科は、妊産婦の栄養指導が充実している
- ・ママサポとっぴーずがある
- ・つどいの広場がある（ふらっとスペース金剛など）
- ・フラットまつりがある
- ・小学校が多い
- ・放課後子ども教室が充実している
- ・若い方々が入ってくるような団地がある
- ・広い公園がある
- ・図書館が近い
- ・金剛公民館にあるおもちゃ病院がよい（金剛銀座街でもできたらよいと思う）
- ・グラウンドで野球ができる

みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

【第1&第2圏域】

活発な町会活動や、自主的な町内清掃が資源としてあげられました。また、訪問などによる高齢者支援の取組があることや、健康増進に向けたウォーキング等に便利な場所として、石川河川敷や粟ヶ池周辺などをあげる声がありました。

ヒト

- ・町会が活発に活動している
- ・町内の清掃などが自主的にされている（本町）
- ・総合体育館やすばるホールにおいて市民との関わりがある（もっとアピールすべき）
- ・学生による地域ボランティアがある

コト・モノ

- ・一人暮らしの方（高齢者）への訪問がある
- ・新堂小学校区の配食サービスで、温かいお弁当が食べられる
- ・粟ヶ池周辺がウォーキングなどによい
- ・石川河川敷のグラウンド等がある
- ・石川河川敷のサイクリングロードが整備されている



【第3圏域】

親子で取り組む町内清掃や自主的な草刈などが、支え合いの取組としてあげられていました。また、トレッキング先駆者やトレーニング施設など、健康増進に向けて活用できる人や場所についての意見もありました。

ヒト

- ・小学生があいさつをしてくれる
- ・お父さんと子どもが揃って町内清掃をしており、すばらしい（金剛伏山台）
- ・国道309号線沿で、草刈りをされている方がいる
- ・トレッキングの先駆者がいる

コト・モノ

- ・温水プールやトレーニング施設がある
- ・PL病院のバスが走るようになった
- ・寺池公園は桜がきれいで、走るのによい



魅力のあふれるまちのにぎわいづくり

【第1&第2圏域】

寺内町をはじめとする歴史資源や、きらめきファクトリー、サバーファーム、バファローズスタジアムなどの各種施設、だんじりやPL花火などの行事、桜や夕日などの風景等、様々な市の魅力があげられました。また、産業の魅力やSNSによる情報発信の充実についても、資源として意見が出されました。

ヒト

- ・困ったことがあればすぐに来てくれるまちの電気屋さんがある

コト・モノ

- ・PLの花火大会がある
- ・だんじりがある
- ・きらめきファクトリー（観光案内所）がある
- ・寺内町があり、杉山家住宅や日本の道百選に入った石畳の道、おいしいカフェなど、見所がたくさんある
- ・寺内町のイベントがあり、参加者が年々増えている
- ・重要文化財がある（市民のリピーター券や案内制があるとよい）
- ・天誅組が根城にした屋敷がある
- ・錦織神社がある
- ・滝谷不動の神社やお不動さんがある
- ・ダイエーのあとにスーパーができて付近が明るくなった
- ・西板持は近郊農業が盛んで頼もしい
- ・サバーファームで農業体験ができる
- ・名産物の茄子ジャムがある
- ・桜がきれい（石川河川敷・滝谷公園など）
- ・夕日がきれい（川西）
- ・バファローズスタジアムがある
- ・いこいのスペースやイベントが多い
- ・SNSの発信が充実している（Tonda_style (Instagram)・美味しいもの発見 (Facebook)）
- ・大阪大谷大があり、市と色々連携している

【第3圏域】

PL花火やだんじりに加え、金剛バルやイルミネーションといった、金剛地区の新たな取組についても資源としてあげられました。また、桜や紅葉といった四季折々の魅力や、エコール・ロゼなどの商業施設があることについても意見が出されました。

ヒト

- ・地域を盛りあげている人たちがいる

コト・モノ

- ・PLの花火大会がある
- ・だんじりがある（パレードなど）
- ・金剛バルやイルミネーションがある
- ・藤沢台まつりがある
- ・盆おどりがあ
- ・加太龍雲寺の蓮がきれい
- ・桜がきれい（PL・寺池台小前など）
- ・梅がきれい
- ・紅葉がきれい
- ・エコール・ロゼ等、買い物ができる施設がある
- ・情報誌「金剛コミュニティ」がある（もっと発行すればよい）



【第1&第2圏域】

防災に関しては、災害が少ないことや、連絡体制などの町内連携が強いといった意見が出されました。また、防犯に関しては、子どもの安全に向けた見守り活動や、防犯灯のLED化、防犯カメラの増設、公園の夜間使用の禁止などが資源としてあげられました。

ヒト

- ・子ども見守り隊の方が毎日立っており、併せてごみ拾いまでしてくれている

コト・モノ

- ・台風・地震など、災害が少ない
- ・町内の連絡システムがしっかりしている（町会でアンケートをしており、誰が何人住んでいるか把握している）
- ・町内の横のつながりが強い（つながりが強くて入りにくい側面もある）
- ・消防団の詰め所や駐在所が近くにあるので安心できる
- ・町会が防犯灯の付け替えをしている
- ・防犯灯がLEDになって明るくなった
- ・昔より防犯カメラが増えた
- ・回覧板などで不審者情報がまわってくるので、気をつけられる
- ・夜間使用禁止の公園がある（施錠されている）



【第3圏域】

防災に関しては、災害や危険箇所が少ないことや、防災訓練、要援護者への訪問・見守り活動などに加え、災害ボランティアの創設についての意見もありました。また、防犯に関しては、子どもの見守り活動や、防犯カメラ・街灯の増設などもあげられましたが、防犯に関する不安がないといった声も多くありました。

ヒト

- ・父兄が子どもの登下校の見守りをしており、安心できる
- ・散歩している人が多い（人の目が多い）
- ・災害ボランティアスクラムがある（H28.6月～）

コト・モノ


- ・災害被害が少ない
- ・水害やがけ崩れなどの危険な場所が少ない
- ・防災訓練と炊き出し訓練を行っている
- ・市の災害時要援護者宅の訪問と見守り活動がある
- ・金剛消防署が近い
- ・防犯という言葉がぴんとこないほど安全な所に住んでおり、不安がない
- ・50年地域に住んでいるが、防犯上安全である
- ・夜道でも安心できる
- ・交番の駐在さんがまめに回っており、安心できる
- ・災害時のレスキューが来てもらいやすい（道路等が広いので）
- ・防犯カメラが増えた
- ・道路街灯が増えた（高辺台）
- ・街灯が多く、明るい
- ・救急車のたらいまわしを聞いたことがない

【第1&第2圏域】

美しい地域づくりに向けた取組として、地域ぐるみでの公園の清掃活動に関する意見が出されました。また、その他の資源としては、豊かな自然や美しい景観、季節ごとに特色のある公園などについて意見があげられました。

 ヒト

- ・公園の清掃をみんなでしている

 コト・モノ


- ・自然（山・川）が豊かである
- ・粟ヶ池周辺がよい
- ・駅が多い（メリットにすべき）
- ・石川河川敷に散歩道や桜並木がある
- ・錦織公園がある
- ・桜の綺麗な滝谷公園がある
- ・二上山・葛城山・金剛山の山並みが美しく、ランドスケープが魅力的である
- ・石川河川敷は、秋になると企業団地方面の橋がとて美しく、また駐車場もある
- ・東条地区はすぐ近くにありながら、田舎の雰囲気があってよい（観光資源にならないか）
- ・焼却場の見学ができる

【第3圏域】

美しい地域づくりに向けた取組として、親子やボランティアによる町内の清掃活動の意見が出されました。また、広い道路や遊歩道、緑豊かな公園など、良好な住環境としての資源が多くあげられました。

 ヒト

- ・お父さんと子どもが揃って町内清掃をしており、すばらしい（金剛伏山台）
- ・ボランティアで清掃してくれている人がいる
- ・犬の散歩マナーが良い人が多い

 コト・モノ

- ・交通の便がよい（金剛駅が近い）
- ・高い建物が少ない（空がきれい）
- ・四季を感じられるリボン通りがある
- ・公園や道路にゴミ箱がない
- ・金剛地区は道路が広い
- ・緑や公園が多い（活用が少なく、欠点でもある）
- ・良好な住環境がある
- ・寺池公園が美しい（市がよく草刈りしたり、町内会が貢献してくれている）
- ・ロータリーがきれいになった（タクシーの待機所等）
- ・都市計画に基づいて道路が整備されている（金剛駅付近）
- ・田んぼがあり、景色がよい
- ・車が通らない遊歩道がある（もっと増設してつなげてほしい）



3. 地域の課題・資源の総括

未来への希望を育む子育て・教育

両圏域に共通する意見として、世代間の交流や声かけ、助け合いについて、課題と資源の両方で多くの意見があり、地域ぐるみでの子育ての必要性や重要性について話し合われました。

圏域別の特徴としては、第1&第2圏域では、課題・資源ともに子育てや教育に関する様々な施策についての意見が多くあげられました。また、第3圏域では、子どもの居場所や遊び場に関する意見が多く、公園や図書館などが近くにあることを資源とする一方で、ボール遊びのできる公園の必要性や図書館書籍の充実など、資源を充実させる必要性についての意見も出されました。

みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

両圏域に共通する意見として、町会などの団体の高齢化や担い手不足、地域のつながりの希薄さなどがあげられました。また、健康増進に向けて利用できる公園や施設があることを資源とする一方で、公園のさらなる活用や、施設の利用方法の見直しの必要性についても話し合われました。

圏域別の特徴としては、第1&第2圏域では、認知不足を指摘する声がありながらも、支え合いとしての町会活動や自主的な清掃などの地域活動が活発に行われていることが資源としてあげられた一方で、第3圏域では、地域活動の少なさが課題としてあげられました。

魅力のあふれるまちのにぎわいづくり

両圏域に共通する意見として、観光や産業において、大きな特徴がなく、認知度も低いといった声が多くあげられました。

圏域別の特徴としては、第1&第2圏域では、寺内町をはじめとする歴史資源やサバーファーム、バファローズスタジアムなど、既存の資源が魅力としてあげられた一方で、第3圏域では、金剛バルやきらめきイルミネーションなど、比較的新しく生み出されたソフト面の取組が資源としてあげられました。

安全・安心で美しく快適なまちづくり＜安全・安心な暮らしの確保＞

両圏域に共通する意見として、防災面では、地域における連携やボランティア組織などの地域ぐるみの防災体制を資源とする意見が多く出されたほか、災害や危険箇所が少ないという声もありました。また、防犯面においては、子どもの見守り活動や防犯灯・防犯カメラの設置が資源としてあげられました。

圏域別の特徴としては、第1&第2圏域では、防犯面において、防犯や非行防止に向けた地域での取組の必要性が話し合われたほか、空き家の増加についても意見が出されました。第3圏域では、防災面において、高齢化に伴って地域防災力を不安視する声があり、また防犯面においては、治安を不安に思わない意見が出された一方で、夜間の道路や公園の見通しが悪いといった意見も出されました。

安全・安心で美しく快適なまちづくり

<快適に暮らせる環境づくり・環境にやさしく美しい地域づくり>

両圏域に共通する意見として、住環境や生活環境に関する課題が多くあげられた一方で、地域における清掃活動や四季折々の風景など、資源についての意見も多く出されました。

圏域別の特徴としては、第1&第2圏域では、豊かな自然や美しい景観が資源としてあげられた中、自然環境の保全の必要性についての意見も出されました。また、第3圏域では、整備された道路や遊歩道、公園などの資源があげられた一方で、住宅地の落書きや街路樹の管理などを課題と捉える意見が出されました。

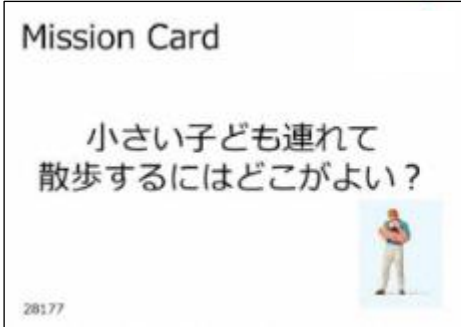





4. 自主活動

(1) プロセス

第2回のグループワーク終了後、今後のワークショップでの議論を、より具体化するため、参加者に任意で、自主活動に取り組んでいただきました。活動の内容は、以下のメニューを用意し、グループ内で話しあううえで実施していただきました。

図表 II-3 自主活動のメニュー（当日配布資料）

A. まち歩き	実際に地図上に出た課題や資源を見てまわり、具体的にどんなことが課題になっているか、資源はどんなものか、新たに追加できる課題や資源がないかを確認し、まとめてみて下さい。(BやCを兼ねるのもOK)
B. 課外打合せ	まち歩きはしないものの、一度 Topic（※場所や時間については裏面を参照ください）に集まって、時間内に喋ることができなかった内容について話しあう機会を持ってみてください。
C. 資源探し	<p>テーマに沿ったミニチュアの人形を各班にお渡ししますので、自分とは異なる視点で資源に関する写真を撮ってきてください。</p> <p>例1) 小さい子どもを連れて散歩するのに適した場所は？（子育て）</p> <div data-bbox="411 987 874 1312" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Mission Card</p> <p>小さい子ども連れて散歩するにはどこがよい？</p>  </div>  <p>例2) 一風変わった音楽活動ができそうな場所は？（文化・都市魅力）</p> <div data-bbox="411 1373 874 1697" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Mission Card</p> <p>「ここは自分を出せる場所」を探せ。</p>  </div> 

(2) 自主活動のまとめ

多くの班がまち歩きを通じて地域の資源探しに取り組んだほか、これまでのワークショップで検討した資源や課題について、きらめき創造館 Topic で作戦会議を行ったり、個別で写真を撮ったりと、それぞれの視点や手法で、富田林を探索しました。

以下にワークショップ内で紹介した各班の活動概要をまとめた資料を示します。

1 班

(第1・2圏域)

きらめき創造館Topicで作戦会議！

【取り組み内容】

- ①課題の振り返り
- ↓
- ②資源の振り返り
- ↓
- ③課題や資源について、さらに議論を深めました



2 班

(第1・2圏域)

喜志エリアをじっくりまち歩き

【まち歩きスポット】

- ①駄菓子屋風和里（ふわり）
- ②石川サイクルロード
- ③絵本カフェ
- ④粟ヶ池共園

・
・
・
などなど、
歩いたスポットは
約30箇所！



3 班

(第1・2圏域)

寺内町「後の雛まつり」

でまち歩き！

【まち歩きルート】

- ①きらめきファクトリー
- ↓
- ②中林寝装店・泊や
- ↓
- ③zakka+++marche
- ↓
- ④城之門筋・興正寺別院
- ↓
- ⑤旧万里春酒造
moro2イベント
- ↓
- ⑥寺内町がれりあ



4・5班

(第1・2圏域)

四季折々の写真と

魅力再発見のまち歩き

【四季折々の写真提供】

- ①石川・滝谷公園の桜
- ②サバーファームの
ポピー畑
- ③夏の田植えやPL花火
- ④こども見守り隊
- ⑤だんじり風景



【まち歩きルート】

- ⑥寺内町
- ↓
- ⑦石川河川敷
- ↓
- ⑧きらめき創造館
“Topic”



6 班 (第3圏域)

「散歩」と「プロポーズ」を テーマにそれぞれがまち歩き！

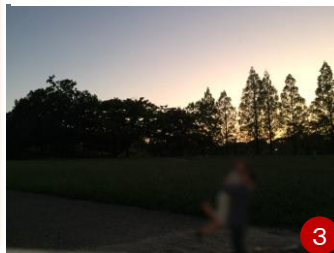
【まち歩きスポット】

- ①リボンどおり
- ②エコール・ロゼ付近
- ③津々山台3号公園
- ④津々山台2号公園
- ⑤309号線歩道橋
- ⑥金剛中央公園
- ⑦金剛ショッピングモール
金剛ふれあい大通り

A.子どもを連れて散歩するにいいところ！



B.プロポーズにいいロマンチックなところ！



7 班 (第3圏域)

まち歩きで課題と資源を再確認！

【まち歩きルート】

- ①金剛連絡所付近
- ↓
- ②金剛中央公園
旧市営プール
- ↓
- ③金剛保育園・寺池公園
- ↓
- ④エコール・ロゼ付近
- ↓
- ⑤金剛東中央公園
- ↓
- ⑥藤沢台公園・ヤマオ
- ↓
- ⑦狭山富田林線沿の歩道



8班

(第3圏域)

東西ミックスのまち歩き！

【まち歩きルート】

- ①谷さんの家庭菜園
(東条クラインガルテン)
- ↓
- ②明治池公園
- ↓
- ③津々山台公園
- ↓
- ④金剛ふれあい大通り
銀座商店街
- ↓
- ⑤久野喜台公園



9・10班

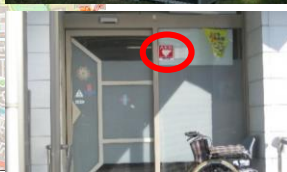
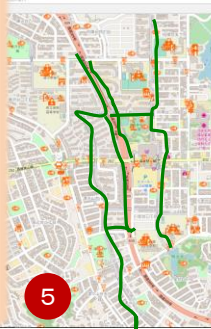
(第3圏域)

防災・防犯・環境…

まち歩きでチェック！

【まち歩きルート】

- ①金剛連絡所付近
- ↓
- ②金剛中央公園
旧市営プール
- ↓
- ③寺池公園
- ↓
- ④金剛東中央公園
- ↓
- ⑤金剛東遊歩道
- ↓
- ⑥藤沢台公園
- ↓
- ⑦狭山富田林線沿の歩道

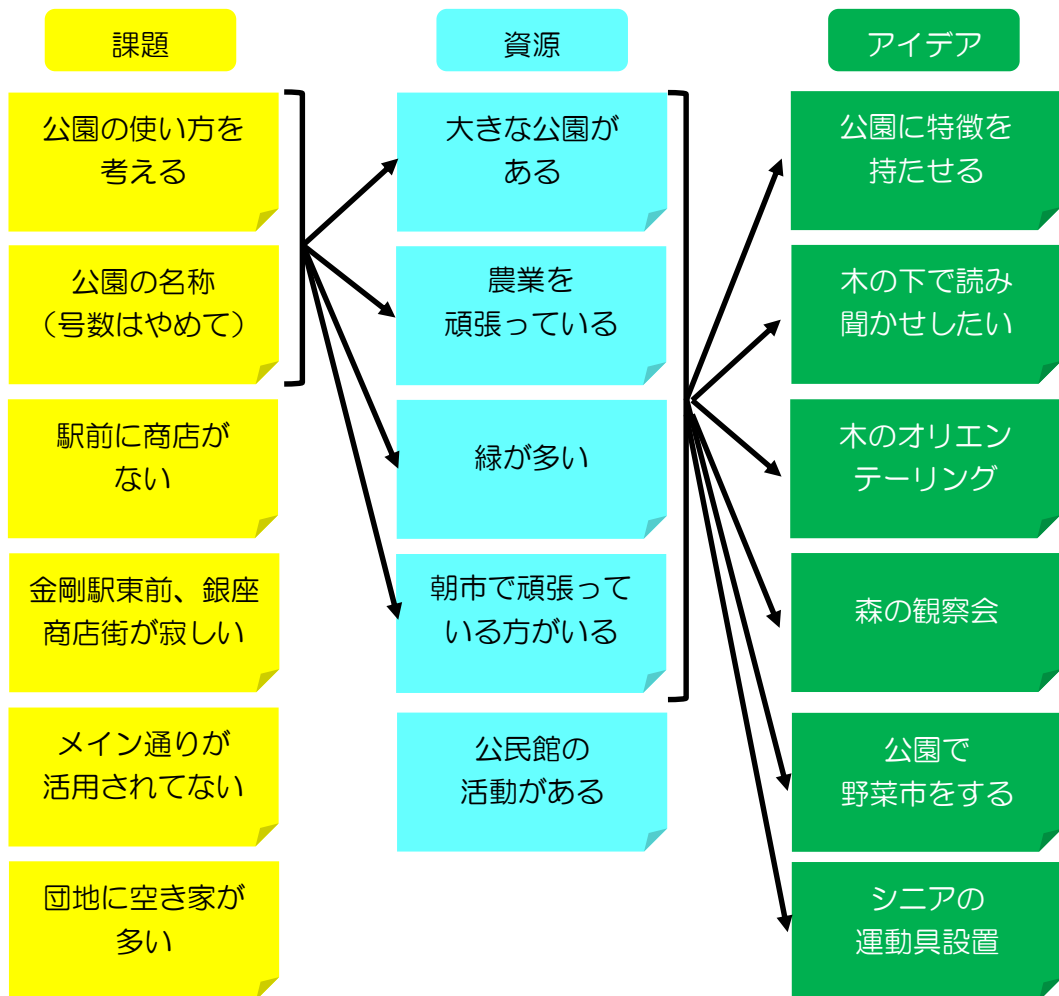


5. 資源と課題を結びつけよう & 作戦会議！ 次の一步を考えよう

(1) プロセス

最終回のグループワークでは、第1回・第2回のグループワークで整理した、本市の地域課題と資源を組み合わせ、課題を解決するためのアイデアを検討しました。

図表 II-4 資源と課題の組合せ、アイデアの例



(2) グループワークのまとめ

①班

(第1&第2圏域)

未来への希望を育む子育て・教育

①班では、世代間の交流がないという問題意識から、年末の火の用心イベントを通じて多世代交流を生み出し、そこをきっかけにオリジナル企画を作り出すというアイデアです。

これが町内会だ！

～「火の用心」から始まるまちづくり～

【地域課題】

- ・ 世代間における交流が見られない
- ・ 子どもがあいさつできない



【地域資源】

- ・ 利用可能な公共施設がある
- ・ 「何とかしなければいけない！」と意識を持った住民がいる

【取組アイデア】

短期

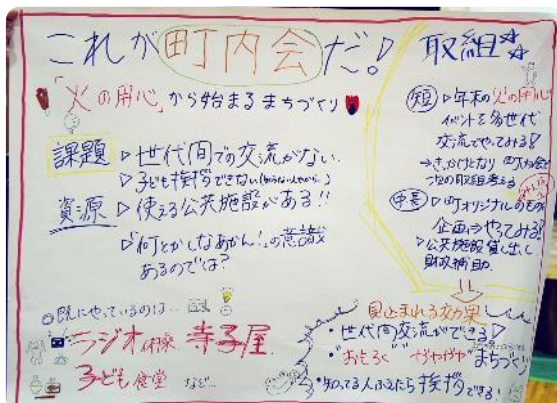
- ・ 年末の火の用心イベントを多世代交流の場とする
- ※簡単に取り組めることから始め、次の企画へつなげる

中長期

- ・ 市民がまちオリジナルの企画をつくりみんなで実施する
- ・ 市は公共施設の貸出しや、財政的な支援を行う

【期待される効果】

- ・ 世代間交流が生まれる
- ・ 顔見知りが増えることで、あいさつができるようになる
- ・ 「おもしろく」「ガヤガヤ」子どもが安心して過ごせるまちになる



②班では、コミュニティや集う場所が少ないという課題に対応するための資源として、だんじりを取りあげました。だんじり祭りの魅力を伝え、検定を実施したりするアイデアです。

ここがすごいぞ だんじり祭り

～内からも外からも～

【地域課題】

- ・人が集う場所がない
- ・子どもが一人で見ているのを見かける
- ・コミュニティが少なく、地域課題が表面化しづらい



【地域資源】

- ・だんじり
- ・こいのぼり (石川)
- ・かかしフェスティバル (彼方)

【取組アイデア】

短期

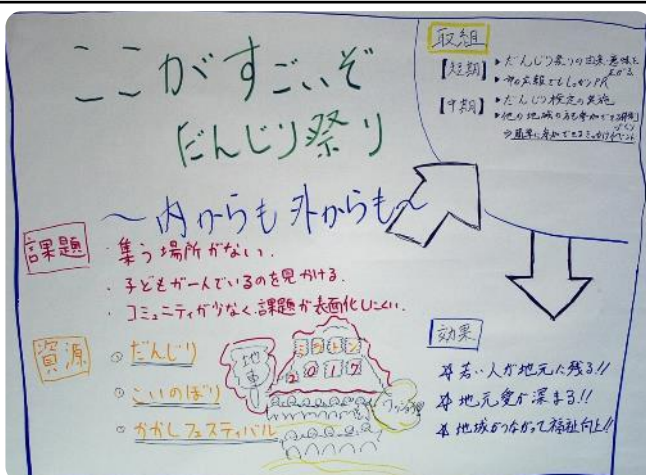
- ・市民がだんじり祭りの由来・意味を多くの人に広げる
- ・だんじり祭りを市の広報でもしっかりとPRする

中長期

- ・だんじりの知識を問う「だんじり検定」を実施する
- ・地域外の人にも気軽に参加できるきっかけイベントを実施する

【期待される効果】

- ・地元愛が深まる
- ・若い人が地元に残る
- ・地域がつながることで、福祉が向上する



③班
(第1&第2圏域)

魅力のあふれるまちのにぎわいづくり

③班では、市内の人も市外の人も富田林の良いところを知らないという課題を、広報という切り口で取り組んでいます。「市民も意識して情報をキャッチする」等の提言がありました。

拡散！富田林 どんどこ？富田林 知ってるか？富田林

～富田林を知ろう！歴史とこれからの町 人から人へ手をつなごうみんなの富田林～

【地域課題】

- ・寺内町や農産物などの魅力が多くあるが、市内・市外を問わず知らない人が多い



【地域資源】

- ・寺内町の魅力に関する情報
- ・魅力的な農産物
- ・公共施設（きらめきファクトリーなど）

【取組アイデア】

短期

- ・市民が意識して情報をキャッチ
- ・市民がきらめきファクトリーを積極的に訪れる
- ・市が幼稚園・小学校の保護者に向けたイベント告知をする
- ・市が体育館利用者に向けたイベント告知をする

中長期

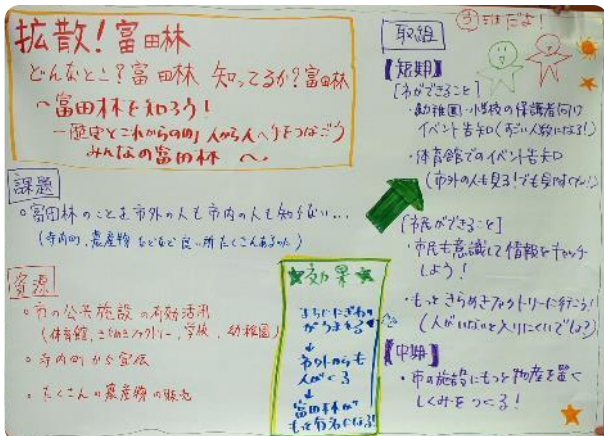
- ・公共施設に多くの物産品を置く仕組みをつくる

【期待される効果】

・まちのにぎわいが生まれる

・市外からの来訪者が訪れる

・富田林がもっと有名になる



④+⑤班では、石川の河川敷を貴重な資源と捉え、水辺の利活用を既存施設の活用から始めていくというアイデアです。中長期的には府と連携しての、ハードの整備を提言しました。

Ishikawa Area Innovation ～石川からはじめる未来のまちづくり～

【地域課題】

- ・石川河川敷の保全が必要（資源として活用するため）
- ・石川河川敷の草が伸びており、利用されていない



【地域資源】

- ・石川サイクルロード
- ・石川の水辺
- ・石川河川敷の活用スペース

【取組アイデア】

短期

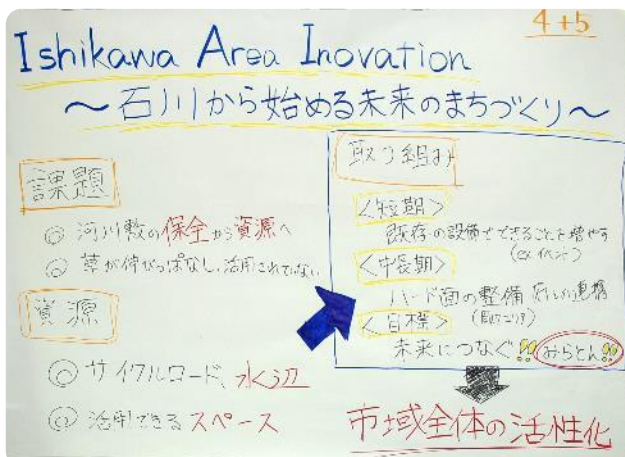
- ・石川河川敷の既存設備を活用したイベント等の開催を増やす

中長期

- ・周辺エリアを含めたハード面の整備
- ・大阪府との連携

【期待される効果】

- ・市域全体が活性化される



⑥+⑦班
(第3圏域)

未来の希望を育む子育て・
みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

⑥+⑦班は、子育てと地域福祉の連携チームらしく、高齢者と子どものつながりを、地域活動を通じて醸成するというアイデアです。キーワードは「元気な高齢者の力」です。

コミュニティのリフレッシュ
～「高齢者と子どものつながりをつくる」～

【地域課題】

- ・子育て世帯への支援が不足
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・地域にある施設が有効活用されていない
- ・高齢者の力が十分に発揮できていない



【地域資源】

- ・元気な高齢者が多い
- ・高齢者が持つ知恵・知識

【取組アイデア】

短期

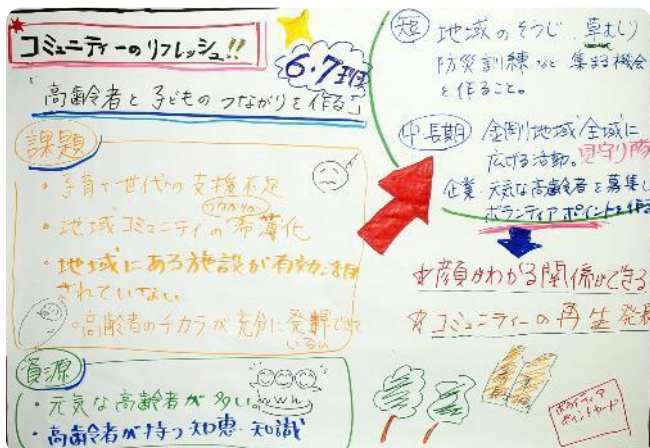
- ・地域清掃や防災訓練など、地域の人が集まる機会をつくる

中長期

- ・金剛地区全域に活動を広げる
- ・企業などが元気な高齢者を募集し、ボランティアポイントをつくる

【期待される効果】

- ・地域コミュニティの中で顔が分かる関係ができる
- ・地域コミュニティの再生と発展



⑧班
(第3圏域)

魅力のあふれるまちのにぎわいづくり

⑧班では、金剛地区にたくさんある公園や農産物を活用して、楽しいイベントをたくさん仕掛けていこうというアイデアです。「私がやりたい!」という方が多くいて議論が盛り上がりました。

金剛ファーマーズマーケット ～出かけよう公園!! 商店街!!～

【地域課題】

- ・公園を活用しきれていない
- ・「ふれあい大通り」と「銀座商店街」に活気がない
- ・駅前に商店がない



【地域資源】

- ・大きな公園が多くある
- ・農業をして朝市へ出荷している人がいる

【取組アイデア】

短期

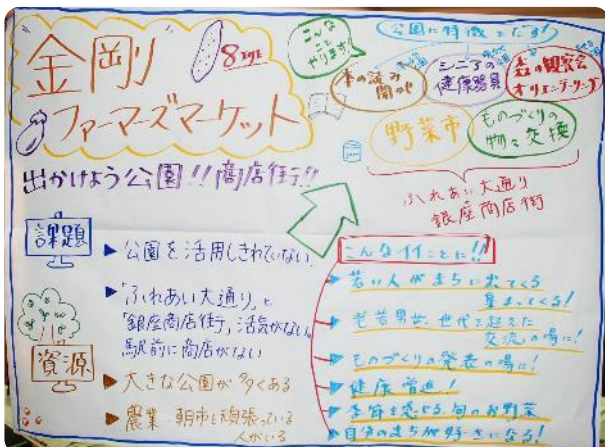
- ・津々山台公園で本の読み聞かせ
- ・明治池公園にシニアの健康器具を設置する
- ・寺池公園で森の観察会・オリエンテーリング
- ・野菜市の開催や物々交換の実施

中長期

- ・出店者が儲かる仕組みと出店料の回収により、事業の持続と展開をめざす

【期待される効果】

- ・健康増進に役立つ
- ・ものづくりの発表の場になる
- ・老若男女、世代を越えた交流の場が生まれる
- ・季節を感じる旬の野菜が手に入る
- ・若い人がまちに出て、集まりができる
- ・自分のまちが好きになる



⑨+⑩班では、まち歩きなどから得た防災の視点を、取組アイデアに結びました。自治会活動やボランティア組織などを通じてコミュニティのつながりを強め、意識を変えていく取組です。

心の富ん田まちに ～大災害に備えよう！！個人の意識づけ改革～

【地域課題】

- ・人付き合いが少なく、無関心になっている
- ・防災に対する意識が低い
- ・ゴミの散乱や落書きがある



【地域資源】

- ・災害ボランティアスクラムなどのボランティア組織
- ・学校などの公共施設(公園も含む)
- ・自治会組織、防災倉庫、ゴミステーション

【取組アイデア】

短期

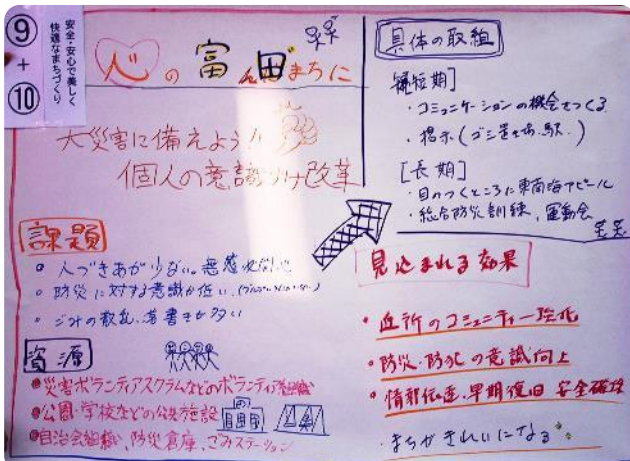
- ・コミュニケーションの機会をつくる
- ・ゴミステーションや駅などに防災関係の情報などを掲示する

中長期

- ・目のつくところで東南海地震のリスクと備えをアピール
- ・総合防災訓練、運動会を実施する

【期待される効果】

- ・地域コミュニティが強化される
- ・防災・防犯の意識が向上する
- ・情報伝達、早期復旧、安全確保などにつながる



6. 取組アイデアの総括

今年度の“Mira-ton”では、参加者が認識している地域の課題に対して、地域住民や行事、学校、公園、公共施設等の身近な地域資源を有効活用しながら、課題の解決をめざすための方策について、検討が行われました。

アイデアの検討に向けて捉えられた地域の課題としては、地域コミュニティの希薄化や既存施設の有効活用が進んでいないことが多く取りあげられており、取組のアイデアとしても、地域コミュニティにおける交流の促進や既存施設が有効活用されるための方策が多くなっています。

また、短期・中長期の2つの時間軸の中で取り組むべきアイデアを検討した結果、短期的な取組としては、市民一人ひとりが取り組めることや地域コミュニティにおける取組、既存施設の場所としての利用など、先ず出来そうなことに着眼したアイデアが多くなっており、中長期的には行政や企業が協力をしていくなど、短期的な取組を継続・発展させていくアイデアが多くなっていました。

市民が活動の担い手として、「自分たちがやりたいこと」を通じて、継続的に地域課題の解決をめざすとともに、行政や企業がその側面を支援していく取組の方向は、本市が策定した総合ビジョンにおける主体的な市民参加と協働によるまちづくりの実現に向けて、重要な方向性になるものと考えられます。

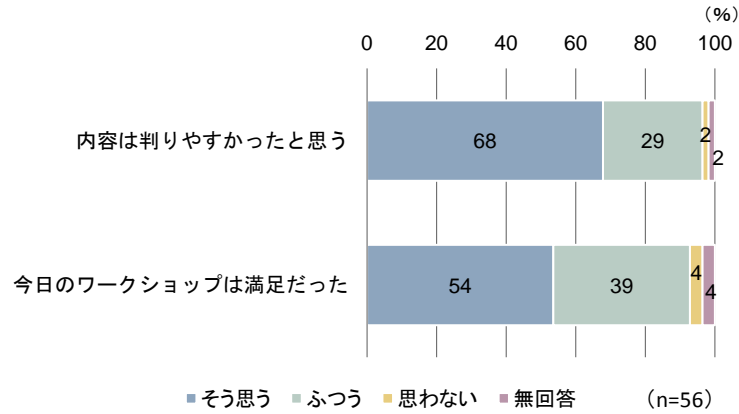


III. 資料編

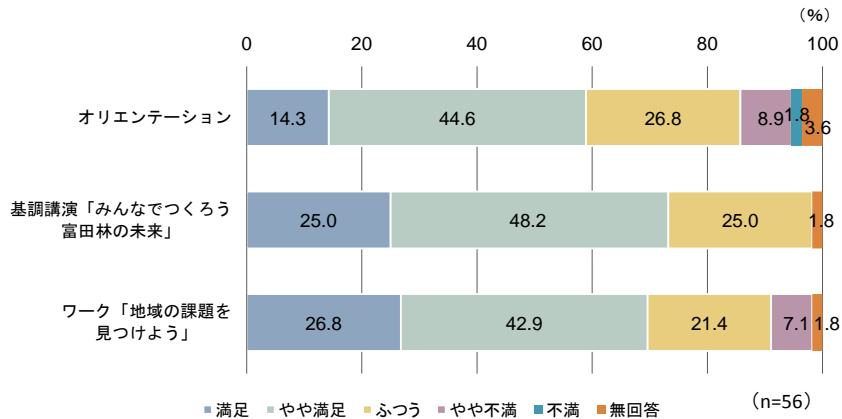
アンケート調査結果

① 第1回

【全体の判りやすさ・満足度】



【各セッションの満足度】

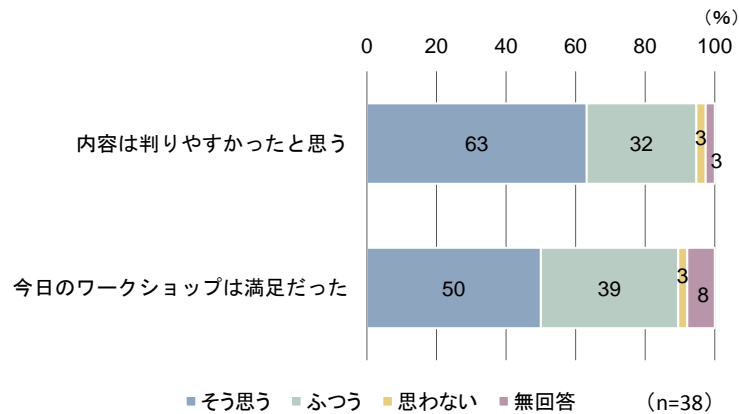


【主な自由意見】

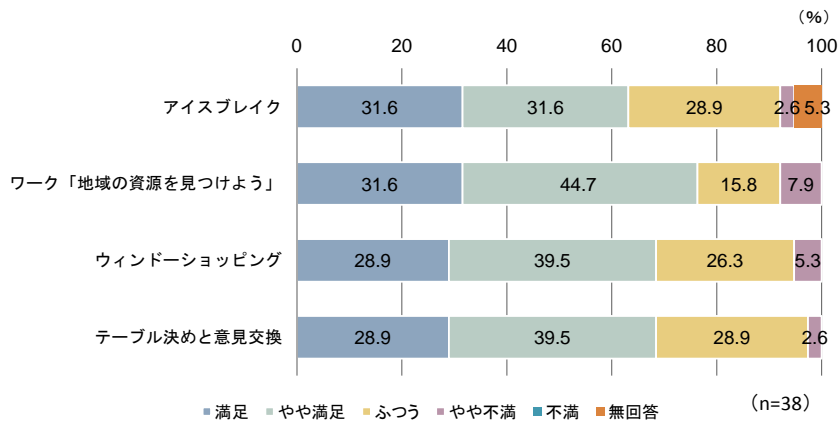
期待と異なる点・もっと聞きたかった点	全般についてのご意見・ご感想
<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることだけでなく、良い点も出し合えたらと思う。 ・ワークの時間が短すぎると思います。 ・課題を出す際の注意点がもっと具体的にであるとニーズを掘りおこしやすかったのでは？ ・昨年の提言の行政としての具体化は？ ・学区外の話も聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見が私の想像からかけ離れているものもあり、大変興味深かったです。 ・いつも接することのない世代の方と話すチャンスとなり、よかったですと思います。 ・市民会議は良い試みだと思います。ただ会議だけに終わらない様にしないとイケないと思います。 ・参加されている方は関心を持ってると思うが、それ以外の方にも（発信するなど）興味を持ってもらえるといいと感じました。 ・中高生の意見も別の機会でも聞いてはどうか。

② 第2回

【全体の判りやすさ・満足度】



【各セッションの満足度】

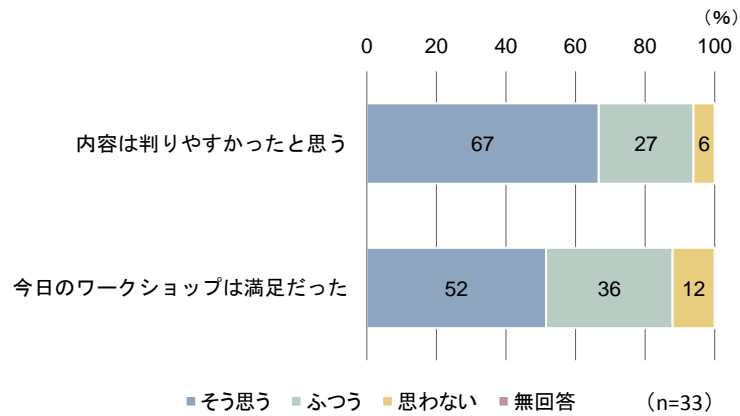


【主な自由意見】

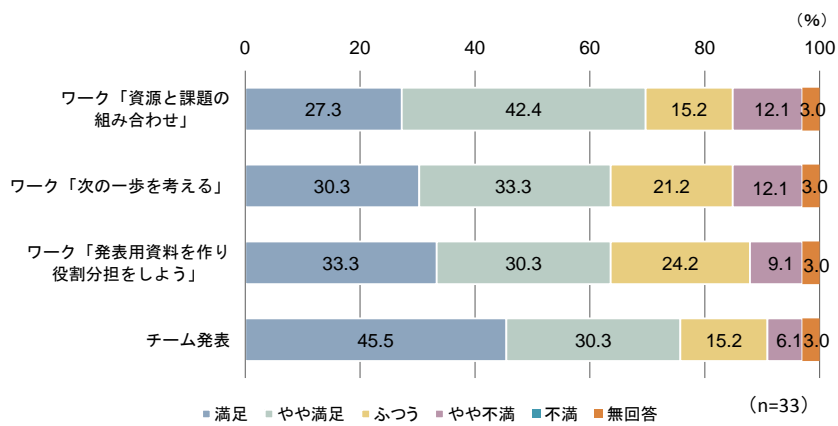
期待と異なる点・もっと聞きたかった点	全般についてのご意見・ご感想
<ul style="list-style-type: none"> ・聞いてもらいたい所のポイントがずれている。最終的に市民の意見を取り上げてもらいたい！！ ・前回と一緒の提言だったので、もっと次に進めなかったのかな。 ・時間が足らなかったように思う。もう少し話し合いがほしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の違う地区の方との交流が少しほしかった。 ・思っていた以上に話が出来たので良かった。 ・前回、改善点を言ったところが改善されていて良かったです。 ・課題をあげるのは簡単ですが、「手だて」を考えるのは難しいですね！（時間も不足）

③最終回

【全体の判りやすさ・満足度】

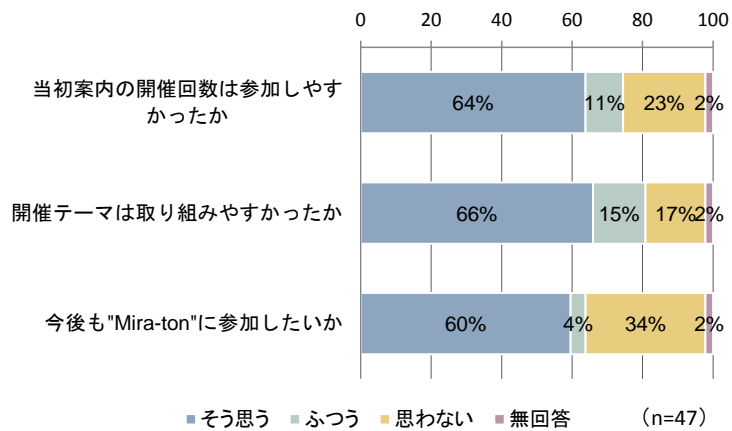


【各セッションの満足度】

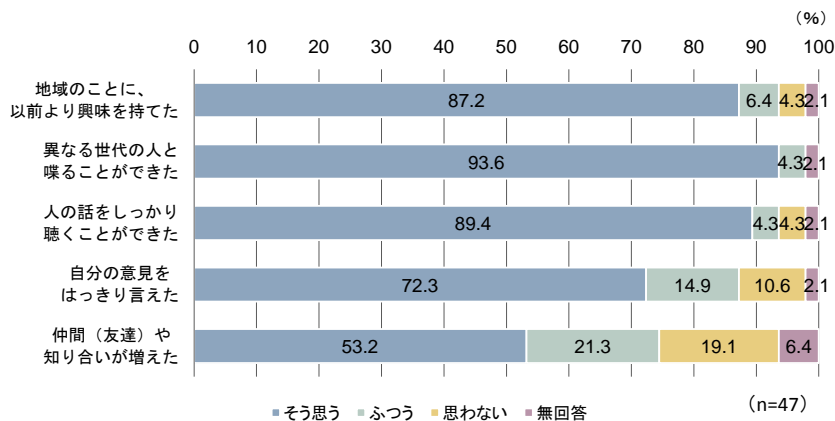


④ “Mira-ton 2017” 全体

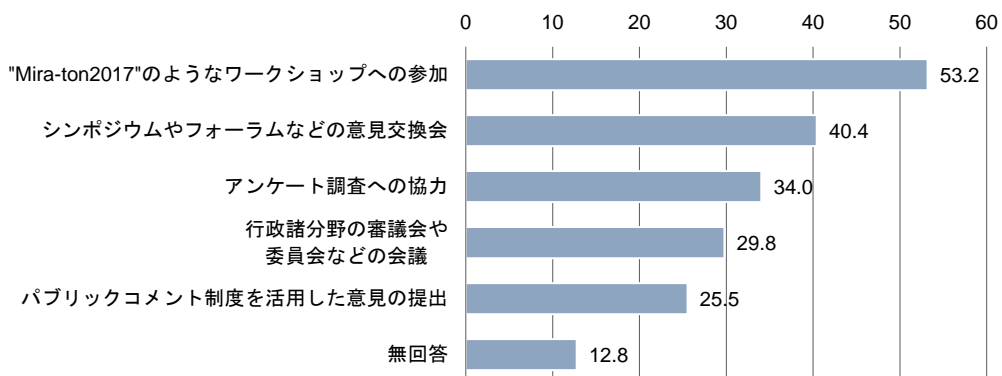
【開催回数・テーマ・今後の参加意向】



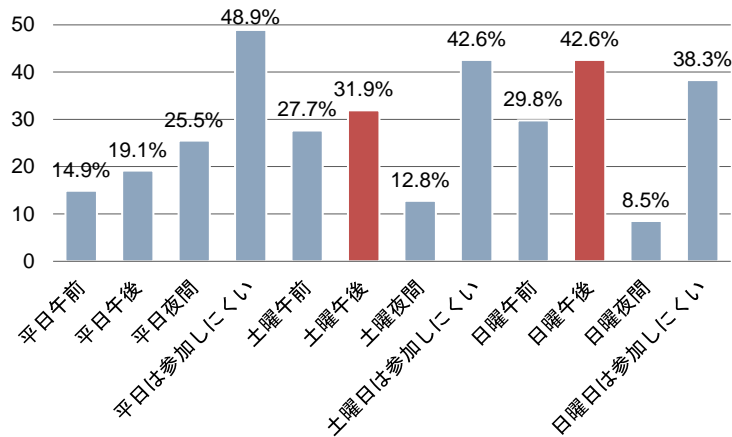
【“Mira-ton 2017”に参加する前と後で、あなた自身に変化があったと思うか】



【今後の市のまちづくりに参加する際の手段（複数回答）】



【ワークショップやフォーラムに参加しやすい日時】



【主な自由意見】

“Mira-ton2017”全体について、感じたこと	左記以外で感じたこと
<ul style="list-style-type: none"> ・全く考えたことのなかった富田林のこと、自分がもしかしたらこんなことができるかも（この町で！）なども感じる事ができた。具体的に活動していけたらもっといいですね。 ・あったかい市だと思います！この調子で市民活動を続けてほしいです！ ・前回も参加しましたが、今回は無作為に選ばれた方も入ってよかったと思います。 ・今まで人に対して自分の考え、意見が言えなかったですが、ファシリテーターの方をはじめ、よい雰囲気づくりをしてくださったので話しやすかったです。 ・提言された事を行政がどう具体化したか、しつつあるかを、見える化して欲しいです。 ・課題を予めしぼっておいて、集中的ディスカッションすべき。 ・年齢層がもう少し若い世代も入った方が良いかも知れないと感じました。 ・しばらくの間は続けていてもらいたい。 ・自分の住んでいる地域以外のことを知る事ができる良いきっかけになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富田林の魅力を知ることができたことはとても大きかったです。 ・長い間住んでいるわりには、知らないことが多くて勉強になりました。 ・もうすこし年齢層が参加されると良い。 ・この会が開催されたことでどのように市は参考にし、取り組んでいかれるのか？と思います。 ・市側が富田林市の将来・未来のことにいろいろ多面的に考えてくれていることに気づき嬉しかったです。 ・未来を担う若い人に焦点が集まる傾向は全体にあるけれど今までがんばってきた世代を大事にすることが次の世代へのメッセージではないかと思われました。 ・異なる世代の人と話す機会ができてよかったです。 ・自分の住んでいる町は自分で住みやすい様に変えていかなければ他の人にまかせきりではこの町が好きになれない。やっぱり安心して住み、好きな場所にしたいなあと思った。

未来の富田林をあなたと描く市民会議

みらとん

“Mira-ton 2017”

